

# 日本の溜池 II

## —「ため池百選」めぐり—

南 埜 猛

キーワード：溜池，ため池百選，地域資源，日本

### 1. はじめに

本稿は、南埜(2014)の継続論文である。「日本の溜池」と題する本稿は、前稿に続いて、①「ため池百選」事業ならびに選定溜池の分析と、②現地調査した溜池の報告の2つの柱で構成する。①にかかわって、本稿では「ため池百選」で選定された溜池の分布について考察する。②については、2013年度と2014年度に調査した奈良県、和歌山県と山梨県の4つの溜池を報告する。

### 2. 「ため池百選」の選定溜池とその分布

#### (1) 選定溜池

「疏水百選」では、選定数が百を超えて110箇所であったのに対して(林 2007)、「ため池百選」では、タイトルの数のおり100箇所の溜池が選定されている<sup>1)</sup>。100箇所の溜池は、応募総数620から選定されたものである。

選定された100箇所を一覧で示したものが表1である。表1が示すように「ため池百選」では一つの溜池でなく、特定地域内の複数の溜池を対象とする溜池群として選定されたものがある<sup>2)</sup>。具体的には、「久保木流域ため池群(6)<sup>3)</sup>」、「塩田平ため池群(30)」、「片田・野田のため池群(47)」、「いなみ野ため池ミュージアム(61)」、「西光寺野台地ため池群(62)」、「北大東村ため池群(99)」の6箇所である。なお、溜池群については、応募の段階から想定されており、一体的に利用・保全がなされている場合、生態系のネットワークが形成されている場合、一体的な地域の景観が形成されている場合等が例として示されている<sup>4)</sup>。また、谷池の親子池関係のように連続した溜池群も3箇所(「大山上池・下池(12)」、「長池オアシス(58)」、「金清1号池・金清2号池(78)」)が選定されている。本稿では、このケースは「単」として扱う。

兵庫県から選定された「寺田池(59)」と「天満大池(60)」は、「いなみ野ため池ミュージアム(61)」にも含まれる。このように選定溜池には、ひとつの溜池で「ため池百選」の選定に値する溜池はもちろんのこと、ひとつひとつの溜池はその基準に値しないものであっても、複数の溜池で評価されている点に「ため池百選」の基準の特色がある。溜池群はその地域の自然環境や開発経緯と深く係っており<sup>5)</sup>、地域的観点も取り入れられているといえよう。

#### (2) 選定溜池の分布

「ため池百選」の選定溜池の分布を示したものが図1から図5である。都道府県別の選定数を注目してみると、複数選定された都道府県は26であり、1箇所のみは19である。そ

表1 「ため池百選」選定溜池一覧

No.	池名	都道府県	市町村	区分	No.	池名	都道府県	市町村	区分	No.	池名	都道府県	市町村	区分
1	美幌温水溜池	北海道	美幌町	単	35	朝日池	新潟県	上越市	単	69	大成池	鳥取県	伯耆町	単
2	廻堰大溜池	青森県	鶴田町	単	36	じゅんさい池	新潟県	阿賀野市	単	70	うしおの沢池	島根県	雲南市	単
3	堺野沢ため池	青森県	五所川原市	単	37	赤祖父ため池	富山県	南砺市	単	71	やぶさめのため池	島根県	江津市	単
4	藤枝ため池	青森県	五所川原市	単	38	桜ヶ池	富山県	南砺市	単	72	神之淵池	岡山県	久米南町	単
5	千貫石ため池	岩手県	金ヶ崎町	単	39	漆沢の池	石川県	七尾市	単	73	鯉ヶ窪池	岡山県	新見市	単
6	久保川流域ため池群	岩手県	一関市	群	40	鴨池	石川県	加賀市	単	74	服部大池	広島県	福山市	単
7	百間堤(有切ため池)	岩手県	一関市	単	41	赤尾大堤	福井県	勝山市	単	75	長沢ため池	山口県	阿武町	単
8	内田ため池	岩手県	奥州市	単	42	八幡池	岐阜県	坂祝町	単	76	深坂溜池	山口県	下関市	単
9	加瀬沼ため池	宮城県	多賀城市、塩竈市、利府町	単	43	入鹿池	愛知県	犬山市	単	77	深田ため池	山口県	長門市	単
10	一丈木ため池	秋田県	美郷町	単	44	三好池	愛知県	みよし市	単	78	金清1号池・金清2号池	徳島県	阿波市	単
11	小友沼	秋田県	能代市	単	45	芦ヶ池	愛知県	田原市	単	79	豊稔池	香川県	観音寺市	単
12	大山上池・下池	山形県	鶴岡市	単	46	初立池	愛知県	田原市	単	80	満濃池	香川県	まんのう町	単
13	徳良池(徳良湖)	山形県	尾花沢市	単	47	片田・野田のため池群	三重県	津市	群	81	蛙子池	香川県	土庄町	単
14	馬神ため池と大谷の郷	山形県	朝日町	群	48	楠根ため池	三重県	菟野町	単	82	国市池	香川県	三豊市	単
15	玉虫沼	山形県	山辺町	単	49	八楽溜	滋賀県	東近江市	単	83	山大寺池	香川県	三木町	単
16	藤沼貯水池(藤沼湖)	福島県	須賀川市	単	50	西池	滋賀県	長浜市	単	84	通谷池	愛媛県	砥部町	単
17	南湖	福島県	白河市	単	51	三島池	滋賀県	米原市	単	85	赤蔵ヶ池	愛媛県	久万高原町	単
18	穴塚大池	茨城県	土浦市	単	52	淡海湖	滋賀県	高島市	単	86	大谷池	愛媛県	伊予市	単
19	砂沼湖	茨城県	下妻市	単	53	広沢池	京都府	京都市	単	87	堀江新池	愛媛県	松山市	単
20	神田池	茨城県	阿見町	単	54	大正池	京都府	井手町	単	88	弁天池	高知県	安芸市	単
21	大沼	栃木県	小山市	単	55	佐織谷池	京都府	舞鶴市	単	89	蒲池山ため池	福岡県	みやま市	単
22	唐桶溜	栃木県	芳賀町	単	56	狭山池	大阪府	大阪狭山市	単	90	池ノ内湖	佐賀県	武雄市	単
23	妙参寺沼	群馬県	太田市	単	57	久米田池	大阪府	岸和田市	単	91	山谷大堤	佐賀県	有田町	単
24	間瀬湖	埼玉県	本庄市	単	58	長池オアシス(長池、下池)	大阪府	熊取町	単	92	野岳ため池	長崎県	大村市	単
25	小中池	千葉県	大網白里町	単	59	寺田池	兵庫県	加古川市	単	93	諏訪池	長崎県	雲仙市	単
26	月見が池	山梨県	上野原市	単	60	天満大池	兵庫県	稲美町	単	94	大切畑ため池	熊本県	西原村	単
27	御射鹿池	長野県	茅野市	単	61	いなみ野ため池ミュージアム	兵庫県	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町	群	95	浮島	熊本県	嘉島町	単
28	菅大平温水ため池	長野県	木祖村	単	62	西光寺野台地のため池群	兵庫県	姫路市、福崎町	群	96	野依新池	大分県	中津市	単
29	千人塚城ヶ池	長野県	飯島町	単	63	長倉池	兵庫県	加西市	単	97	巨田の大池	宮崎県	宮崎市	単
30	塩田平のため池群	長野県	上田市	群	64	昆陽池	兵庫県	伊丹市	単	98	松の前池	鹿児島県	和泊町	単
31	荒神山ため池	長野県	辰野町	単	65	斑鳩ため池	奈良県	斑鳩町	単	99	北大東村ため池群	沖縄県	北大東村	群
32	中郷温水池	静岡県	三島市	単	66	箸中大池	奈良県	桜井市	単	100	カンジン貯水池	沖縄県	久米島町	単
33	青野池	新潟県	上越市	単	67	亀池	和歌山県	海南市	単					
34	坊ヶ池	新潟県	上越市	単	68	狼谷溜池	鳥取県	倉吉市	単					

出所) 農林水産省ホームページより筆者作成。

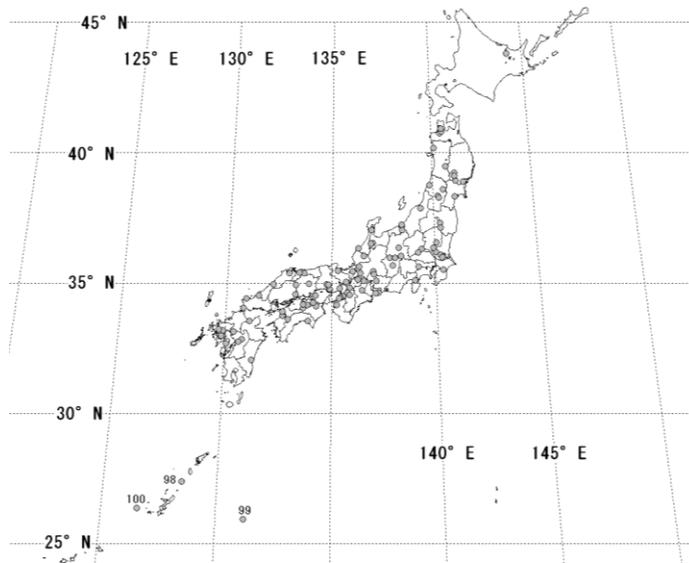


図1 「ため池百選」選定溜池の分布

注) 番号は、98が「松の前池」、99が「北大東ため池群」、100が「カンジン貯水池」の位置を示す。その他の選定溜池は図2～5に示している。

出所) 農林水産省ホームページより筆者作成。

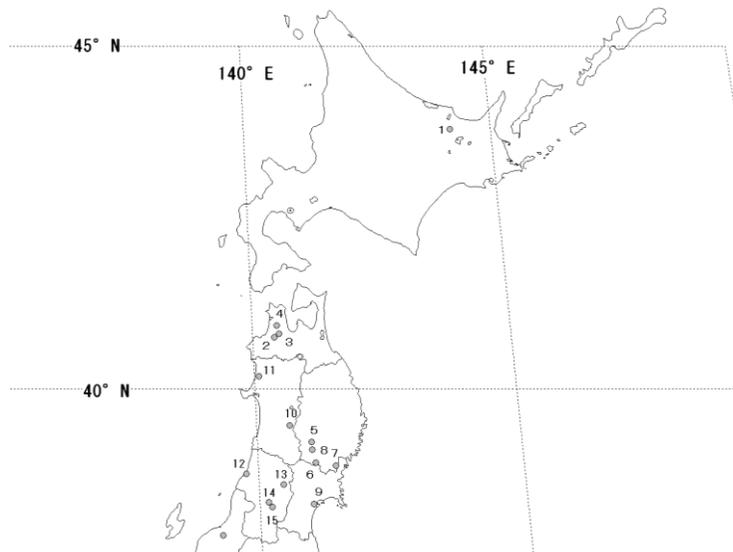


図2 北海道・東北地方の選定溜池

注) 番号は表1中のNo.に対応する。

出所) 農林水産省ホームページより筆者作成。

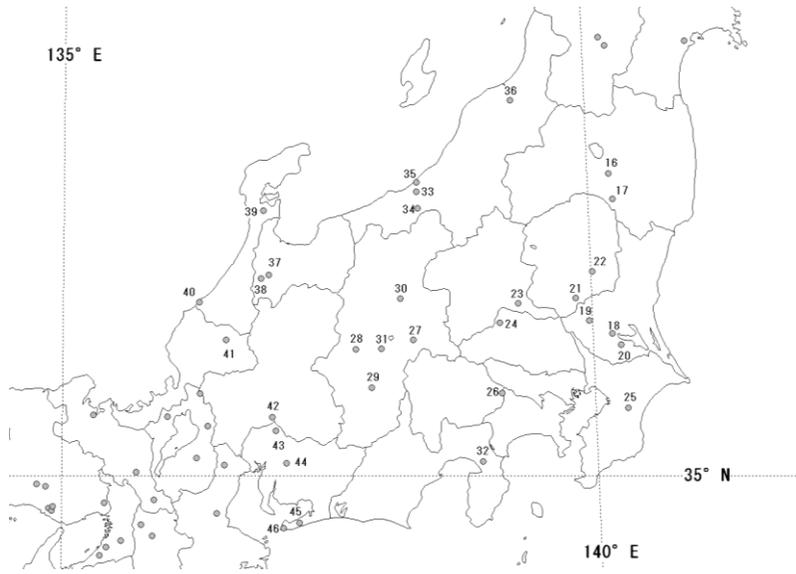


図3 関東・中部地方の選定溜池

注) 番号は表1中のNo.に対応する。

出所) 農林水産省ホームページより筆者作成。

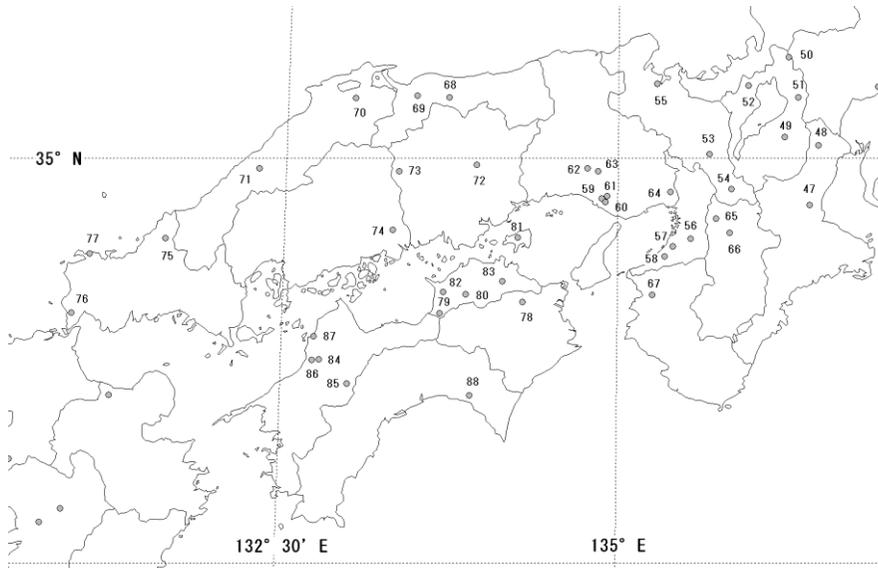


図4 近畿・中四国地方の選定溜池

注) 番号は表1中のNo.に対応する。

出所) 農林水産省ホームページより筆者作成。

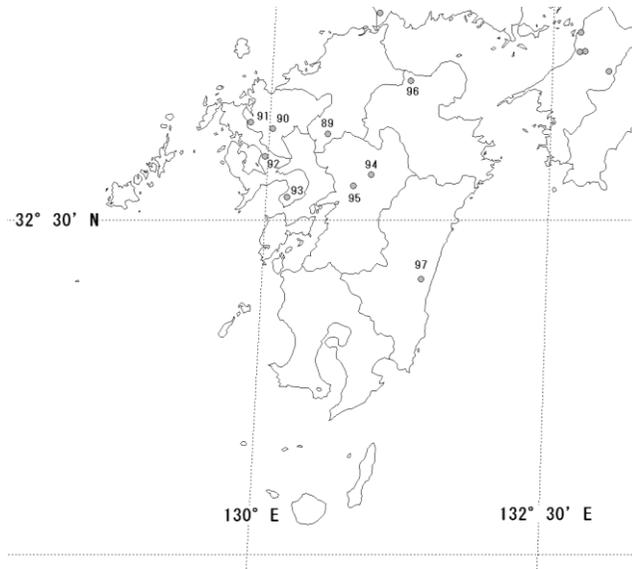


図5 九州地方の選定溜池

注) 番号は表1中のNo.に対応する。

出所) 農林水産省ホームページより筆者作成。

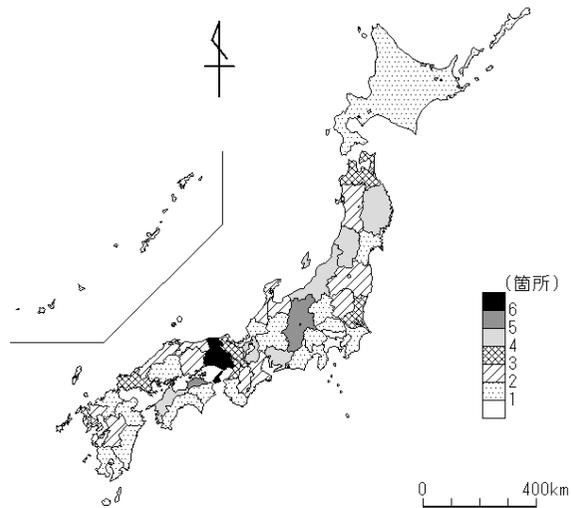


図6 都道府県別の選定溜池数

出所) 農林水産省ホームページより筆者作成。

表2 調査溜池一覧

溜池名	読み	都道府県 /市町村	位置 (度分秒)	標高 (m)	貯水量 (万m <sup>3</sup> )	受益面積 (ha)	備考 (調査日等)
箸中大池	はしなかお おいけ	奈良県 市/桜井市	34° 32' 21.34"N 135° 50' 28.42"E	73	2.9	37	2013年12月16日
斑鳩ため池	いかるがた めいけ	奈良県 市/斑鳩町	34° 37' 32.00"N 135° 44' 20.00"E	64	38.0	111	2013年12月16日
亀池	かめいけ	和歌山県 /海南市	34° 9' 19.00"N 135° 15' 40.00"E	66	45.8	230	2013年12月30日
月見が池	つきみがい け	山梨県/上野 原市	35° 37' 47.00"N 139° 6' 50.00"E	280	2.5	13	2014年3月29日

出所) 位置と標高は堤体の地点データを Google Earth により取得した。貯水量、満水面積は「ため池台帳」(農林水産省, 2002) による。

して、東京都と神奈川県からは選定されていない。ちなみに東京都と神奈川県からは応募がゼロであった。選定にあたって、地域バランスに関する意見が出されている<sup>6)</sup>。結果的に、応募がゼロであった東京都と神奈川県以外の道府県からは1箇所以上の溜池が選定されたが、都道府県ごとにばらつきがみられた。

選定箇所が最も多い県は兵庫県で6箇所が選定されている。5箇所が選定されたのは香川県と長野県である。以下4箇所が6県、3箇所が5府県、2箇所が12県となっている(図6)。「ため池台帳」に示された都道府県ごとの溜池数と選定溜池数を見比べてみると、溜池数1位の兵庫県からもっとも多くの溜池が選定されている。溜池数では27位の長野県から5箇所の溜池が選定されているのに対して、溜池数2位の広島県からは1箇所しか選定されていない。溜池数との関係で見ると、東北地方の県から溜池数に比して、多く選定されている傾向がみいだされた。

市町村単位でみると新潟県上越市が3箇所でもっとも多く、青森県五所川原市、岩手県一関市、富山県南砺市、愛知県田原市、そして兵庫県稲美町から2箇所が選定されている。新潟県の場合、全県で4箇所のうち上越市が3箇所であり、県内においても分布のかたよりがみられる。また農林水産省のホームページに示された選定溜池の所在地では、「加瀬沼ため池(9)」、「いなみ野ため池ミュージアム(61)」と「西光寺野台地のため池群(62)」の3箇所が複数の市町が掲載されている。このうち「加瀬沼ため池(9)」は溜池そのものの所在地は多賀城市であり、受益地域が塩竈市と利府市にまたがっている。「いなみ野ため池ミュージアム(61)」と「西光寺野台地のため池群(62)」は、溜池の分布が掲載された市町に広がっている。

### 3. 溜池めぐり

#### (1) 箸中大池(奈良県)

箸中大池は、箸墓古墳<sup>7)</sup>に隣接した溜池である。箸墓古墳は卑弥呼の墓としても近年注目された古墳である<sup>8)</sup>。全長282m、高さ30mの前方後円墳である箸墓古墳は、3世紀末から4世紀初頭の築造とされている。古墳と周濠池との関係については、末永(1947)以来、議論されている。すなわち古墳造営期より水を貯え灌漑用水としての利水がなされた

のか、あるいは造営期においては空濠で後世において灌漑用溜池としての機能を付加したという2つの見解で議論がなされている。近年では川内（2009）において大仙陵（伝仁徳天皇陵）を事例に検討がなされている。管見のかぎりでは、箸墓古墳を取り上げたこれらの議論はみあたらず、箸中大池の溜池としての築造時期は不明である。

溜池としては、貯水量が2.9万 $m^3$ であり、37haの水田を潤している。箸中大池では国営総合農地防災事業が1996（平成8）年に完成し、堤体、洪水吐、取水工が改修されている。溜池の周囲は奈良県が指定する景観保全地区に纏向景観保全地区（1972年10月2日指定）として指定されており、また桜井市が作成している観光パンフレット「ひみこの里・記紀万葉のふるさと さくらい」においておすすめハイキングコースのルート上にあり、地域資源や観光資源として活用されている。

溜池の北側には駐車場が設置されているほか、国営総合農地防災事業においても古墳の正面に近い西側の堤体部には擬木の柵を設置し、ヨシの保全や植石ブロックの使用など環境に配慮した整備がなされている。

なお国営総合農地防災事業の記念碑は設置されているが、「ため池百選」関係の施設は確認できなかった。

## （2）斑鳩ため池（奈良県）

斑鳩ため池は、1944（昭和19）年に築造された溜池である<sup>9)</sup>。貯水量は38万 $m^3$ であり、受益面積は111haである<sup>10)</sup>。倉橋池、高山溜池、白川溜池とともに奈良県の四大溜池のひとつとしてあげられている。

溜池からは法輪寺の堂塔をはじめ、斑鳩の里を一望することができる。水面利用として、近くの高校がボート部の練習場として活用しており、ボート倉庫も設置されている。さらに溜池を管理する土地改良区は、フナやコイを養魚する第二種区画漁業の認可を受け、斑鳩ため池は養魚場としても活用されている。

養魚場でもあることから、堤体部分には侵入できないようにゲートが設置されており、立ち入り禁止やごみ投棄防止の警告看板が設置されている。なお溜池を紹介する説明看板や「ため池百選」にかかわる施設は確認できなかった。

## （3）亀池（和歌山県）

亀池の貯水量は45.8万 $m^3$ 、受益面積は230haである。今回調査したため池の中では最大の溜池である。亀池の築造は1770年とされ、紀州藩が紀州流土木工法の始祖といわれる井沢弥惣兵衛に命じて築造させた池として知られている。堤体には井沢弥惣兵衛の碑（大正期に設置）ならびに説明看板も設置されている。

亀池は生石高原県立自然公園内に位置し、溜池の周りには一周約4キロの自然歩道が整備されている。池の中島には、紀州藩徳川家の別邸の双青閣が移築されている。溜池の北側には2000本の桜が植樹され、桜の名所としても有名である。このほか、堤体にはベンチが設置され庭園も整備されている。釣りは禁止されており、釣り禁止の警告看板が設置されている。「ため池百選」にかかわる施設は確認できなかった。

## （4）月見が池（山梨県）

月見が池は、貯水量2.5万 $m^3$ 、受益面積13ha<sup>11)</sup>であり、小規模な溜池である。この溜池は上野原台地を灌漑するために計画された上野原用水の一部として築造されたものである。溜池完成時には弁財天の社が設置されている。

溜池の東側に親水デッキが設置されているほか、夏祭りの際に行われる灯籠流しに利用される灯籠流しデッキも設置されている。池面の鴨のほか、鯉が確認された。ただし、溜

池での釣りは禁止されており、その禁止の警告看板のほかブルーギルやブラックバスの放流を禁止する警告看板が設置されている。また山梨県指定天然記念物の「キマダラルリツバメ」や月見が池の説明看板が設置されている。さらにため池百選の記念碑（2010（平成22）年設置）が確認された。

#### 4. おわりに

「ため池百選」の選定は、個々の溜池の評価に加えて、溜池群としての評価を設定している点に特色がある。この点は、「ため池百選」事業が溜池を地域資源として保全・活用することをねらいとしていることとかがわっている。どのように保全・活用するかは、それぞれの溜池ならびに溜池群を取り巻く環境によって異なるため、それぞれの地域によって取り組み方は異なってくる。

今回の報告で取り上げた4つの溜池においては、月見が池では「ため池百選」の記念碑が設置されていた。一方、そのほかの溜池では、調査時において記念碑や説明看板等の関係施設は確認することはできなかった。もちろん溜池周辺に施設を設置するだけが、「ため池百選」の活用形態ではない。それゆえに、今後の溜池めぐりにおいては、土地改良区などの管理者から選定後の具体的な取り組みについての聞き取りを行い、「ため池百選」事業の評価ならびに取り組みの地域性を検討するようにしたい。

本研究は、文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)「溜池を軸とする持続的な地域づくりと溜池学の創造」(研究代表者：南埜 猛，課題番号 24520889)による研究成果の一部である。

#### 注

- 1) 百選の選定にあたっては、必ずしも百の値が前提ではなく、「第1回 ため池百選選定委員会」においても選定数についての意見が出され検討されている。
- 2) 表1中に特定のひとつの溜池が対象となっている場合を「単」と示し、複数の溜池で構成されている溜池群は「群」と示した。この区分は筆者によるものである。
- 3) 番号は、表1ならびに図1から5の番号に対応する。
- 4) 農林水産省ホームページによる。
- 5) たとえば「いなみ野ため池ミュージアム」の溜池群の場合、地域が台地上にあり開発が遅れたために、台地周辺の河川から冬季の水を利用することで地域開発の糸口を見出した。そのため灌漑期までに水を蓄える装置として、多くの溜池が造られ、それらは一つのネットワークとして機能している（いなみ野ため池ミュージアム運営協議会，2010）。
- 6) 「第2回 ため池百選選定委員会」では、百選の選定にあたって地域おこしに役立てるために地域バランスを配慮するか、あるいは5つの選定視点（農業の礎、歴史・文化・伝統、景観、生物多様性、地域とのかかわり）に照らし合わせて地域バランスは配慮しないのかの意見が出され、また「第4回 ため池百選選定委員会」では、地域バランスを考慮し候補溜池のある道府県から少なくとも1地区は選定される方がよいのではないかと意見が出されている。
- 7) 宮内庁により「大市墓（おおいちのはか）」として第7代孝霊天皇皇女の倭迹迹日百襲姫命の墓とされている。
- 8) 宮内庁が2013年2月20日に初の立ち入り調査を許可して注目された。
- 9) 奈良県ホームページに記載されている完成年は1947（昭和22）年である。
- 10) 農林水産省ホームページでは、受益地域は143haとなっている。
- 11) 設置された説明看板には、貯水量2.45万 $m^3$ 、灌漑面積37haと記載されている。

#### 引用文献

- いなみ野ため池ミュージアム運営協議会（2010）：『淡河川・山田川疏水記録誌』。  
川内眷三（2009）：『大阪平野の溜池環境』和泉書院  
末永雅雄（1947）：『池の文化』創元社。  
農林水産省（2002）：『ため池台帳 一長期要防災事業調査』  
林良博 監修（2007）：『心やすらぐ日本の風景疏水百選』PHP 研究所，256p.  
南埜猛（2014）：日本の溜池 I. 兵庫教育大学地理学研究室紀要 19, pp.57-63.

#### 引用 URL

- 農林水産省：ため池百選. <http://www.maff.go.jp/j/nousin/bousai/tameike/>（2016年1月30日アクセス）。  
奈良県：吉野川分水への夢. <http://www.pref.nara.jp/12079.htm>（2016年1月30日アクセス）。

## Tanks in Japan II

MINAMINO Takeshi

Key Words: tank, selected 100 tanks, regional resources, Japan